



第 23 回のテーマはこちら

## 薬って使えば使うほどよく効くの？

### ～天井効果について知ろう～

薬を使うときに「なかなか効果が出ないからもう少し使おうかな」と思ったことはありませんか？  
実はほとんどの薬でその考え方は逆効果となってしまいます。

薬には「**天井効果**」というものがあり、**一定量を越えるとそれ以上は効果が増えない**ようになっています。  
ここで注意しなければならないのは“**効果は増えないのに副作用だけはどんどん増える**”ということです。

例えば…

『痛みに対してロキソニンを使ったけどあまり痛みが緩和しない→追加でロキソニンを飲もう』という場合。  
ロキソニンの内服量がそもそも少なかったのであれば効果の増強は認められるかもしれませんが。  
しかし、指示量を飲んでいても関わらず効果が乏しい場合は追加で飲んではいけません。  
追加で飲むと痛みが緩和されるどころか、副作用が増強して胃が荒れやすくなるなどのリスクが上がり、  
別の症状で苦しむ可能性が出てくるからです。

上記のようにロキソニンで痛みが緩和されない場合はアセトアミノフェンの併用かオピオイドの使用が  
基本的な対応となります。

では、オピオイドを使用しても痛みが緩和されないときはどうするでしょうか？

答えは「オピオイドを増量する」です。

えっ？天井効果は？となるかもしれませんが、実は**オピオイドには天井効果はありません**。

**オピオイドは増量すればするほど鎮痛効果が上がります**。

これが、オピオイドが鎮痛の最終兵器として使われている理由です。

ただ、使いすぎると副作用が増強するのはオピオイドも同じです。

**痛みに対して効き目が出るまでは増量しても問題ない**とされていますが

痛みの緩和がされているのにオピオイドを増量すると副作用により眠くなったり

ひどい場合は呼吸抑制が生じるリスクがあるので**適切に評価しながら増量をする**ようにしましょう。